

比較家族史学会 報 比較家族史 27

事務局 〒101 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付
郵便振替 [会費] 00130 - 4 - 5222, [雑誌・その他] 00180 - 3 - 604964

比較家族史学会 第三十回研究大会

テーマ イエ・クニの祭祀と女性

日時 一九九六年十月十九日(土)・二十日(日)

会場 別府大学(大分県別府市北石垣)

★懇親会(18:00)

会場 ヘルシーバル別府にて

会費 五〇〇〇円

十月二十日(日)

見学会「うさ・くにさきのシャーマニズム・
仏教・祖先祭祀の旅」

十月十九日(土) 午前九時五〇分より

★9:50~10:00 会長あいさつ

※問題提起 総論

10:00~10:40

飯沼 賢司

11:20

長岩屋見学

修正鬼会を踊る講堂、五輪塔

※沖縄の女性祭祀―親族組織と女性の霊威―

10:40~11:20

村武 精一

12:00

昼食

※韓国の女性祭祀

―儒教とシャーマニズムにおける祭祀権―

11:20~12:00

崔 吉城

14:10

真木大堂

日本最大の大成徳明王、阿弥陀仏、不動明王ほか

☆昼休み(12:00~13:30)

※日本女性の祭祀―女性祭祀と女の霊力・再考―

13:30~14:10

村崎真智子

14:40

熊野磨崖仏

国東を代表する磨崖仏(不動8窟、大日7窟)

※インドネシアの祭祀と女性

―北スマトラバタック社会を中心として―

14:10~14:50

池上 重弘

16:10

財前家墓地

中世から現在に続く墓

☆休 憩(14:50~15:10)

シンポジウム「イエ・クニの祭祀と女性」

15:10~17:00

司会 義江明子・飯沼賢司

18:00

別府大学着

17:20

空港

中世から現在に続く墓

シンポジウム「イエ・クニの祭祀と女性」に当たって

飯沼賢司

今回の研究大会は、祭祀と女性の関係について取り上げることにした。古典的テーマであり、今更と思われる方も多いが、義江明子氏などによって、女性の祭祀権が女性本来のものであるのかなど新しい問題提起がなされている。

また、大分県には、全国の八幡宮の総本社である宇佐八幡宮があるが、この神社にはかつて託宣を司る女性神官女祓宜が存在していた女性祭祀のメッカであった。女祓宜は、神憑する女性であり、宇佐神宮の古代の神官である辛島氏と大神氏という一定の系譜の中で選ばれ、一四世紀の初頭まで活動していた。

特に辛島氏は特に「女官の家」と呼ばれ、初期においては女性だけ系譜をもち、この一族は朝鮮半島渡来の「五十猛命」の子孫という伝承をもつ。古代朝鮮半島には、「花郎」とよばれる男性シャーマンが登場する前に、「源花」とよばれる女性シャーマンが存在しており、宇佐の女性シャーマンは半島のそれとの関係があるともいわれる。

そこで、今回はアジア地域の祭祀の中における女性の役割をもう一度比較検討する中で、女性の祭祀権の根源について考えてみることにしたい。まず、ノロやユタなどの女性祭祀をもつ

沖縄社会については、村武精一氏にご報告いただき、次に儒教社会の中にムードンなどのシャーマニズムをもつ韓国社会における女性祭祀を崔吉城氏に検討していただく。その上で、改めて九州の阿蘇神社の祭祀を素材に日本における女性祭祀の問題について村崎真智子氏の方から検討をしていただく。最後に、インドネシアの父系社会の祭祀の中で女性が占める位置を池上重弘氏に論じていただく予定である。

論点としては、以下のようなものが考えられる。

- (1) 親族組織、家族やイエの中における女性祭祀の位置をどのように評価するのか。父系社会、母系社会、双系社会の違いに留意。
- (2) 家族やイエの中における女性祭祀と地域祭祀の関係、さらに国家祭祀の中に占める女性の位置について検討する。
- (3) 女性祭祀の根源とは何か。女性の霊威の位置付けについて検討。

運営委員会からのお知らせ

1 宿泊については、ヘルシーパル別府（〇九七七一六六一七五七六）を十八日は三十人分、十九日は五十人分ほど確保してあります。値段は九〇〇〇円（一泊二食）ほどです。ただし、夕食を除くと六〇〇〇円余になると思います。宿泊を希望する方は、別府大学附属博物館の阿部寛子まで電話をお願いします。（別府大学 〇九七七一六七一〇一一）

2 研究大会・見学・懇親会の出欠について、同封のハガキにて、十月九日（水）までにお知らせくださいますようお願いいたします（必着）。なお、大会参加費は一〇〇〇円、懇親会費は五〇〇〇円です。参加費等は、当日会場受付にてお支払いください。

3 懇親会は、ヘルシーパル別府でおこないます。

4 二十日（日）の見学は、別府大学のバスを使用できる予定ですので、食事代・入場料を含め、三〇〇〇円以内で済む予定です。

5 大会に関するお問い合わせは、左記のところへお願いいたします。

〒八七四 別府市北石垣八二

別府大学飯沼研究室または博物館

○九七七一六七〇一〇一(代表)

飯沼賢治

事務局からの連絡

理事会議事録

1 会費納入のお願い

一九九六年度分までの会費を納入されていない方には、振替用紙を同封しました。封筒の住所ラベルの下に納入年度が記載されていますので、振込をお願いいたします。年会費は三〇〇〇円です。なお、ラベルに記載された会費は、九月一二日現在のものです。行き違いになりましたら、ご容赦ください。

2 シリーズ比較家族購入について

早稲田大学出版部より、八月にシリーズ比較家族四巻『家と教育』が刊行されました。学会会員は二割り引きで購入できますので、購入を希望される会員は、会員である旨を葉書に記して、直接早大出版部へ申し込んでください。

3 住所・所属等の変更・入会について

住所・所属等の変更がございましたら、左記宛ご連絡ください。また入会等の書類につきましても、左記宛ご送付をお願いいたします。

連絡先 牧田 勲

日時 一九九六年五月三十一日

場所 明治学院大学

1 新入会員・退会者の承認(別項参照)

2 前年度会計報告・承認

3 研究大会の準備状況について

4 『比較家族史研究』の編集について

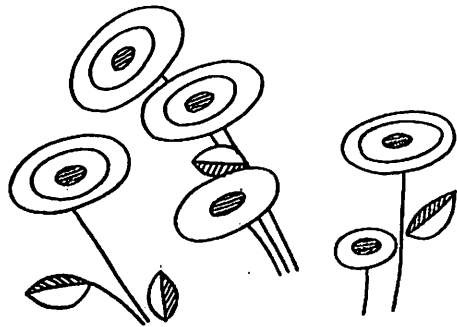
・次号の原稿募集、執筆要領等を名簿と同時に発送する。
・前号の文献目録に一部分野が欠落した点について。

5 『シリーズ比較家族』の刊行進捗状況について

・『家と教育』は、手違いにより刊行が遅れたが、まもなく刊行の予定(八月に刊行)。
・『戸籍と身分登録』は、校正中。「死者祭祀」は、あと原稿一本のみ。「女性史・女性学」は、「家族のオートノミー」は、本年中に原稿をそろえる予定。

6 学術会議関連事項報告

・月刊誌『学術の動向』の発刊。
・研連構成の問題(芸術関連学会など、新学



会をどう帰属させるか)。

・学術会議の提言等、政府にたいする働きかけの強化。

・アジア学術会議など、アジア諸国の学術の交流や、学術的立場で話し合う恒常的組織の必要性について(多様性をふまえた民間の学術的交流の必要性)。

・常置委員会の活動について(情報公開・再販売価格維持制度改正問題と学術出版について・紙質劣化問題・女性科学者の環境改善)

7 十周年記念事業関連

・記念事業実行委員会の解散
・同事業の残金等については、九六年度より学会特別会計とする。

・『事典家族』の編集費配分について。
常任編集委員・編集事務局・特項目の担当・項目選定作業・査読などの仕事量に応じて配分する。

8 企画委員会報告

・アンケートの結果(回答数 一三九通)
(研究大会の回数について)

- ① 現状のままでよい。四九
- ② 年二回のうち、一回は共通テーマで開催し、他の一回は自由報告にする。三五
- ③ 年二回同じテーマで開催する。一三
- ④ 年一回の研究大会でよい。三八

⑤ その他 多様な意見があるため省略
(今後希望する研究大会のテーマ)

各人各様の多様な意見が寄せられたが、傾向としては、①父親論、②同性愛、③ライフサイクル論、④介護と家族、⑤人口論(墮胎など人口抑制を含む)、⑥子育て論、⑦職業と家族、⑧相続論、⑨家族史の理論的検討、⑩婚姻論、⑪家族の変動、⑫ジェンダー論、などが目立ったところである。

(会員が現在発表したいテーマ)省略

今後の研究大会テーマは、今回のアンケートを参考に、大会開催校・企画委員会が協議して決定する。

9 その他

・自由報告に事前審査が必要ではないか、との意見があった。
・女性研究機関より、夫婦別姓選択制に関する民法改正案の国会上程を要請する決議・署名の依頼があった。(会員有志のかたちでおこなう。大会当日、会場入口で署名をお願いした。)

総会議事録

日時 一九九六年六月一日
場所 明治学院大学

1 『比較家族史研究』刊行について

2 『シリーズ比較家族』の刊行について

3 次回研究大会について

4 企画委員会報告(アンケート結果)

5 前年度会計報告と承認

6 学会特別会計について

7 その他



新入会員

広井多鶴子

行政学・親子関係

沢山美果子

日本教育思想史・女性史

池上 重広

文化人類学・

東南アジア地域研究

関沢まゆみ

日本民俗学

成瀬 高明

日本法制

史

塩谷千恵子

日本文学

高村 竜平

村落社会学

稲福みき子

文化人類学

退会者

松村千賀子

工藤 忠雄

上野千鶴子
(郵便番号訂正)
米村 千代

住所・所属等変更

(住所変更)

岡庭 義行

鳴崎 尚子

山下 美紀

鈴木ゆり子

岩田 重則

蕭 紅燕

黒田 弘子

竹内 康博

船橋 恵子

（電話番号等変更・訂正）

（所属変更・訂正）

民族学振興会研究員

富山大学教育学部削除

（電話番号等変更・訂正）

（電話番号等変更・訂正）

（電話番号等変更・訂正）

（電話番号等変更・訂正）

（電話番号等変更・訂正）

（電話番号等変更・訂正）

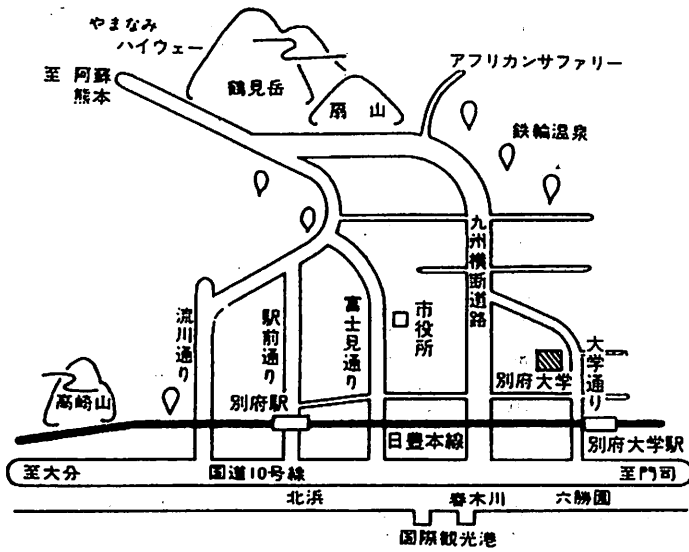
（電話番号等変更・訂正）

会員通信

- ・平松 紘 『イギリス環境法の基礎研究』敬文堂 八二四〇円 一九九五年五月刊
- ・岩田 重則 『ムラの若者・くにの若者』未来社 二五七五円 一九九六年五月刊
- ・青柳 和身 『ロシア農業発達史研究』お茶の水書房 七六二二円 一九九四年四月刊
- ・熊本女性学研究会 『新女性史研究』特集 女の戦後・熊本のおんな五〇年 一〇〇〇円 一九九六年六月刊

◇この欄では会員の著作（単行本）を紹介しています。『比較家族史研究』の書評、文献紹介の資料にもなりますので、事務局までお知らせねがえればと存じます。

別府大学案内図



- 亀の井バス利用の場合
 別府駅発 別府大学經由 鉄輪行き
 別府大学前下車
 別府駅発 石垣經由 亀川病院行き
 別府大学前下車 徒歩3分
- 大分交通利用の場合
 大分・別府駅発 北浜經由 亀川行き
 六勝園下車 徒歩15分
- J R利用の場合
 別府大学駅下車 徒歩10分

別府大学付属博物館位置図

